

たつおか

1950.8

No. 17号

昭和二十五年國勢調査

十月一日に實施さる

一九五〇センサスの一環として昭和二十五年國勢調査が十月一日午前零時現在で調査されるが、此の人口調査は世界四十七ヶ國が参加する大規模な調査であり、内容に於ては複雑であるので調査實施については村民の協力が希望されて居る。

尙此の準備調査が九月二十二日より九月二十四日の間に実施される。

實地調査の調査事項は

- 一、世帯の種類別
- 二、住宅の種類別
- 三、住宅の所有関係
- 四、住宅の敷地
- 五、氏名
- 六、世帯主の続柄
- 七、在不在の別及不在の理由
- 八、男女別
- 九、出生年月日
- 一〇、出生地
- 一一、九月二十四日から三十一日迄の就業状態

①就業 失業 不就業関係

②仕事の種類

③事業の種類

④勤め先の名称 業主の屋号又は氏名

⑤従業上の地位

⑥在學か否かの別

⑦在學年數

⑧國籍又は出身地

⑨、引揚者か否か

⑩、配遇の関係

⑪、結婚年數の合計

⑫、子供の數

⑬、一時現在者數

⑭、調査区域及調査員氏名

⑮、調査員氏名

⑯、調査員氏名

⑰、調査員氏名

⑱、調査員氏名

⑲、調査員氏名

⑳、調査員氏名

㉑、調査員氏名

㉒、調査員氏名

㉓、調査員氏名

㉔、調査員氏名

㉕、調査員氏名

㉖、調査員氏名

㉗、調査員氏名

㉘、調査員氏名

㉙、調査員氏名

㉚、調査員氏名

㉛、調査員氏名

㉜、調査員氏名

㉝、調査員氏名

㉞、調査員氏名

㉟、調査員氏名

㊱、調査員氏名

㊲、調査員氏名

㊳、調査員氏名

㊴、調査員氏名

㊵、調査員氏名

㊶、調査員氏名

㊷、調査員氏名

㊸、調査員氏名

㊹、調査員氏名

㊺、調査員氏名

㊻、調査員氏名

㊼、調査員氏名

㊽、調査員氏名

㊾、調査員氏名

㊿、調査員氏名

八月村會開催

八月二十五日午後一時役場に開催

一、協議事項

二、村條例制定の件

三、職員手当の支給について

四、教員住宅(旧國見宅)移築について

五、元桐林農業協同組合施設について

六、報告事項

七、新地方税制推移状況について

八、購入村有財産(土地家屋)の登記完了について

九、村税務協力委員補助員の改選について

十、満島ダム工事場の就労状況

十一、圖書館の明渡しし開館準備について

十二、東京守山小學校學童の挨拶

十三、青年學院女教師の後任者選任について

村税賦課徴収條令について研究

★地元龍川臨時應急護岸工事施工について

★村治山實行組合の結成について

★國保事業の現況について

★國會に於て決定した地方税法は八〇六條に及ぶ長文の法律であり、それを基礎にした村税徴収條令は二章十一節百四三條に及ぶ長文で、誌面に掲載する事が出来ないが、大體基準は國會に於て示されてあり、各村共條令の制定を急いで行ふ事になった。

燈籠流し入出三万人

二十三日國鐵、信南バス、信毎飯田新聞、竜峽佛敎會、飯田有名商店等の後援をお願して挙行

天候に恵まれて物凄い人出、恐らく三万三千人の波、午後二時より花火の揚げを合



時又の盆踊り

開始以來二十五年の行事は八月十四、十五、十六日の三日間開催。十六日懸賞付交裝踊り大會を催したが投票の結果は

一等 五百圓 沖田幸子 六四三

二等 三百圓 沖田多豆

三等 二百圓 松原英子 五四八

烏道中 鹽澤律子

舌切雀 齊藤まさ 三三六

四等 百圓 齊藤まさ 一七六

おかめ 吉川 昭吉 一七六

五等 五十圓 宮島英治 一三〇

サンドウ 下田一郎 一三〇

イツチマン 下田一郎 一三〇

五十圓 倉澤長男 八四

頭アンドン 倉澤長男 八四

珠算検定に多数合格

先に飯田で行われた第九回珠算能力検定試験に於て左記中學生徒がそれぞれ合格した

(一級)代田ふさ(三年) 下井田喜久(全) 藤田範子(全) 林栄子(全) (五級)中島ひろ(全) (六級)原貞子(二年) 下平照子(二年) 杉本福枝(一年) 熊谷多津子(三年)

(四級)藤本香(三年)

初めの中學同窓會

八月十五日竜丘中學校卒業生の第一回總會を開催。出席者は八十六名、木下前校長に記念品を贈呈。お盆休みに懐しい母校で半日を語り合ふ。

夏季の供餽成績

本年夏季の掃立量は三〇七〇瓦、供餽目標は五對六五〇瓦平均であつたが供餽の實績は一七八八瓦(二〇)瓦目標に對して九二%。

公民館映畫

八月二日上川路、駄科、二日長野原、時又各々分館に於て開演プログラムはCIEのニューヨーク市CIE腰の曲る話、劇映畫は「こんな女に誰がした」各分館共超満員の盛況。

天龍川の被災者

八月二四日午前九時より役場において、六月の水害の當事者集合。日發會社との具体的な交渉開始に伴ふ打合せを行ふ。

公民館夏季野球大會參加十九チーム

八月十五、十六の両日お盆の炎暑の中を開催。熱戦の末芙蓉チームが中配時又營業所の決勝戦となり。七回戦十對〇にて中配優勝旗を獲得した。参加チームは鈴岡、彌生會、ヴァイオレット、長姫クラブ、町並、相幸會、下農竜丘クラブ、竜中三卒會、時又球友、古物商、竜中生、補仁會、駄科青年會、金山、級榮、アル

バレー大會開かる

八月十六日竜丘學校々庭に開催

一位 三点 桐林 二位 二点 時又 三位 一点 駄科 四位 芙蓉

桐林分館、優勝、賞品、並に審番は古川、中田兩先生

公民館夏季成人講座

八月一日夜役場に於て映畫を語る。日本記録映畫社上野三監督、カメラマン喜多村兩氏を招いて開催。第二講は八月十日午後九時學校に於て経済はさうな立場から、金融經濟の實際の上の立場から、八十銀行時又支店長佐野康治氏を招いて講演。第三講は参議院議員羽生三七氏の政治講座。

青年會龍峽ブロッツク野球に勝つ

八月二十七日下久堅學校々庭に於て七ヶ村對抗あり。優勝に上久堅對戦二A一にて優勝旗を獲得し、支那代表として九月十日下城下グラウンドに出場し決定。向女子バレーチームは昨年優勝し、本年男子と共に再び晴れの場へ出る事になった。

公民館運営審議會開催

八月二十八日午後一時より役場に於て開催。事業部長臨時、主なる協議事項は

- 一、圖書館移轉後の管理並に運営に關する件
- 二、運営審議會委員並に職員に關する件
- 三、青年學院職員人事に關する件
- 四、中部龍峽ブロッツク社會教育研究會の件
- 五、その他公民館一般運営に關する件

農協組の運営に

八月二十九日午後二時より農協組に於て農協常務役員と農民組合委員長は懇談會を開催。

日農委員懇談

八月二十九日午後二時より農協組に於て農協常務役員と農民組合委員長は懇談會を開催。

予告

九月十日移轉した新館に於て初めての貸出を開始御利用を乞ふ

圖書部

中部ブロッツク

九月十六日八時より本村學校に於て、御聲援を乞ふ

体育部

五年目の子供達

(橋本玄進)

雨が降るので唐傘を十五本買ひ求めて時又驛へ出迎へた八月二十日午前十一時二十一分着。昭和十九年八月から二十年十一月まで開善寺に集團疎開してゐた東京都世田ヶ谷區守山小學校の子供達が五ヶ年振りを訪ねてくれるのである。当時の寮母さん達や先生方にも出来るだけ連絡を付けて置いた。五ヶ年の成長を考へあれこれ子供達の姿を思ひ浮べる。男子九名、女子四名、森田、神山兩先生時折便りを呉れた子も有り、そうでない人もある。

電車から下り立つた子供達を見て、突さには顔と名前が一つに合わない。挨拶もそこ〜開善寺に向つた。すべ

晩餐を共にして

(岡村美文)

二十一日は玄進師、村代表の助役さんを始め、當時お世話をした寮母、関係者、學校職員を招いて雨上りの庭の縁も清しい開善寺に、心づくしの晩餐會を開催。当時小學校五年四年の兒童は高校二年一年生に立派に成長、なつかしい當年の思い出が語られた。森田先生は

「自然の姿が五年前のまゝで東京の移りかわりもなつかしくに比べても、なつかしく

燈籠流し入出三万人

(橋本玄進)

不思議にさへ思つた事であらう。二十三日歸京の予定を二十四日に延し、二日間自由にゆつくり遊んだ。二十三日の夜時又の燈籠流しを見物、その壯觀に驚きを凌ぎ、村人からの親迎親切に感謝しながら歸京の途に就いた。

時又の盆踊り

(橋本玄進)

思つた。學校へ行くその當分の先生がみな変わったしまつた。この人が来たのだらうと云う様な顔なもので、ではなつかしい感じがしなかつた。東京では一校に五年や一〇年は普通です。小使さんが一人變らずに居て、このかまきでよもぎをうでましたね、なご

公民館映畫

(橋本玄進)

八月二日上川路、駄科、二日長野原、時又各々分館に於て開演プログラムはCIEのニューヨーク市CIE腰の曲る話、劇映畫は「こんな女に誰がした」各分館共超満員の盛況。

天龍川の被災者

(橋本玄進)

八月二四日午前九時より役場において、六月の水害の當事者集合。日發會社との具体的な交渉開始に伴ふ打合せを行ふ。

公民館夏季野球大會參加十九チーム

(橋本玄進)

八月十五、十六の両日お盆の炎暑の中を開催。熱戦の末芙蓉チームが中配時又營業所の決勝戦となり。七回戦十對〇にて中配優勝旗を獲得した。参加チームは鈴岡、彌生會、ヴァイオレット、長姫クラブ、町並、相幸會、下農竜丘クラブ、竜中三卒會、時又球友、古物商、竜中生、補仁會、駄科青年會、金山、級榮、アル

バレー大會開かる

(橋本玄進)

八月十六日竜丘學校々庭に開催

一位 三点 桐林 二位 二点 時又 三位 一点 駄科 四位 芙蓉

桐林分館、優勝、賞品、並に審番は古川、中田兩先生

公民館夏季成人講座

(橋本玄進)

八月一日夜役場に於て映畫を語る。日本記録映畫社上野三監督、カメラマン喜多村兩氏を招いて開催。第二講は八月十日午後九時學校に於て経済はさうな立場から、金融經濟の實際の上の立場から、八十銀行時又支店長佐野康治氏を招いて講演。第三講は参議院議員羽生三七氏の政治講座。

青年會龍峽ブロッツク野球に勝つ

(橋本玄進)

八月二十七日下久堅學校々庭に於て七ヶ村對抗あり。優勝に上久堅對戦二A一にて優勝旗を獲得し、支那代表として九月十日下城下グラウンドに出場し決定。向女子バレーチームは昨年優勝し、本年男子と共に再び晴れの場へ出る事になった。

公民館運営審議會開催

(橋本玄進)

八月二十八日午後一時より役場に於て開催。事業部長臨時、主なる協議事項は

- 一、圖書館移轉後の管理並に運営に關する件
- 二、運営審議會委員並に職員に關する件
- 三、青年學院職員人事に關する件
- 四、中部龍峽ブロッツク社會教育研究會の件
- 五、その他公民館一般運営に關する件

農協組の運営に

(橋本玄進)

八月二十九日午後二時より農協組に於て農協常務役員と農民組合委員長は懇談會を開催。

日農委員懇談

(橋本玄進)

八月二十九日午後二時より農協組に於て農協常務役員と農民組合委員長は懇談會を開催。

予告

(橋本玄進)

九月十日移轉した新館に於て初めての貸出を開始御利用を乞ふ

圖書部

中部ブロッツク

(橋本玄進)

九月十六日八時より本村學校に於て、御聲援を乞ふ

体育部

満島發電工事を訪ねて

働く村人の慰問と激励

八月二十六日午前拾時拾分、時又發電電車に乗って本日の村報記事探訪に併せて村から出て工事現場に約五十名の労働者を慰問の爲出發、一行は北澤館長、橋本副館長、岡村先生、婦人会を代表して代田さき、今村きみ、小林こみ、林さかえ、林つねよ、鹽澤みさき、高橋梅子、河井きよ、橋本志づ子、満島驛へ降りたつ、構内の各所に積み重なった貨車の山、小商人労働者、事務員風、それらに忙しげに往來する顔が輝いて見える。

てゐる人で、一見してこれはいゝ人だと感じる重厚な人柄である。炊事係の婦人が四、五人食の事、すんだ後の片付けもさつぱり出来始め、三斗五升入りの盆が三つ並んでゐる。炊事場はあまり広いと言へないが水の便の良いの、道具の配置が適当で、充分に活動出来るので有らう。

以前貧弱な吊橋だった天龍橋は堂々とした鐵橋に交つてゐる。屋根の新しい建物が点々谷間一ぱい広がつて、大型トラックの往來ははげしい。昭和二十七年三月までこの搾鉄の底のような満島へ三十三億圓の資金が投げ込まれたわけである。

二百人の労働者がゐるさきへが、現場があまり廣大なので工場のわりに人員はさき多しと思はれなかつた。この日盛りを労働者は機械を取組み、汗を流しつゝ、作業をつづけてゐる。今日はダイナマイトを使ふので現場には一般の人は立入れない事になつてゐるので、大きな爆発音が三、四回したと思ふと、手元のトンネルの入口あたりで大小の土石が落ちて、石ころがごころごころと落ちて來て、川に落ちて行く。川向うから「オーイ、隧道の入口が危いぞー」と大聲を上げて、二三人の労働者が公共の通行を必死になつて注意してゐる。しばらく待つてトンネル内にエントリ工事進捗状況は準備が出来たとして本工事に立ち出す。もう一つ注意してゐる。干

街は理髪店有り、食料品店有り、洋服屋、喫茶店等道をゆく人も何となく張り切つて、まぢ全体が如何にも活氣が有る。熊谷組事務所を訪れた一同

羊の頭から始まる細、山羊の大敵、マヒは今から左の点に注意するが肝要です。一に運動 二に防暑 三に注射で マヒになつたら先不思議運動と防暑(日除等)を充分にやること。(長野原 小林生)

麦肥としての自給肥料増産と石灰窒素堆肥の造り方

麦の蒔付もだん／＼近づいて参りましたので、今より自給肥料を増産して準備致しましょう。

1、堆肥増産その効果 堆肥には次の如き他の肥料を以つては償ひ難い優れた特徴を持つて居る。 第一に地力の維持増進 第二に直接肥料としての効果 地力の維持増進は他の如何なる肥料を施すも其の効果は遠く堆肥に及ぶものはない。殊に作物の生産量を最も大きく支配するものは地力である。先づ地力の増進を圖つて次に其の肥料を考へべきであり、堆肥は化學肥料に併用した場合には肥料を保持し、其の外生理的化學的酸性肥料の

①、石灰窒素添加速成堆肥の製造とその特徴 藁稈類、穀類、落葉等を短期間に熟成せしむる速成堆肥の特徴は次の通りです。イ、充分なる空気の供給即ち好氣状態にて酸酵を繼續すること。ロ、充分なる水分の補給をなすこと。ハ、適當なる濃度に於ける溶解性窒素の添加即ち石灰窒素、硫酸等を酸酵菌の繁殖

②、石灰窒素堆肥の堆積操作 堆積材料に乾物一〇〇貫に對する數量) 一、堆積場所 舎内外何れでも差支ないが舎外の場合には風通りによく、水便が良く、風當りの強くない所にして、雨水等の溜らぬ處がよい。二、水掛 藁稈類は束の儘立て、堆積の前日、夕方頃水三〇〇リ位(水桶二二三荷)上から掛けて潤して置く。三、積込み 藁稈類等は二三切切にする。四、切込み 藁稈類等は二三切切にする。五、堆積 藁稈類等は二三切切にする。六、積込 藁稈類等は二三切切にする。

⑤、積込 藁稈類等は二三切切にする。六、積込 藁稈類等は二三切切にする。七、積込 藁稈類等は二三切切にする。八、積込 藁稈類等は二三切切にする。九、積込 藁稈類等は二三切切にする。十、積込 藁稈類等は二三切切にする。

選られた岩盤にコンクリートの礎かかる箇所は、コンクリートの高台が作られて、コンクリートの塊の爲を越すの横に屋根の高さが板屋を越すと言つて、鉄筋のオーセツクリンがそそり立つてゐる。クレインの廻轉の音、鐵骨の音をきく。大きな爆発音が三、四回したと思ふと、手元のトンネルの入口あたりで大小の土石が落ちて、石ころがごころごころと落ちて來て、川に落ちて行く。川向うから「オーイ、隧道の入口が危いぞー」と大聲を上げて、二三人の労働者が公共の通行を必死になつて注意してゐる。しばらく待つてトンネル内にエントリ工事進捗状況は準備が出来たとして本工事に立ち出す。もう一つ注意してゐる。干

本村の麦供出成績は? 事前割当 五四〇石 供出量 九〇〇石 裸麦 二二七石 小麦 一五八石 供出進度 八五・一% 麦生産者價格 大麦正味四九五キロ一〇四九円 小麦正味六〇キ一五九六円

真晝の激しい太陽が降りつける崖を上り下りして説明を聞く一行は、しきりに汗を拭いた。ひとり對岸に人夫を運ぶ舟が静かに水の面をすべつて行く。代田館長の口から思ふ言ふ「あの舟に乘せてもいられたいな」の聲が走る。全く同感だ、しかし残念乍らその時間は無い。 見て居ると時々ブルーレンに人間が乗つてゐる。若い血氣の労働者達であらう。あれに乗つてはいけない事になつてゐますが、さうも仕事になつて來るまで乗らなかつて困ります。向ふから歩いて來る三〇分近くかゝります。あれに乗る三二、三分で來るものでしたら、三〇分かかるよりも三十分かかる方がよいわけである。

栽培増加か? 二四年度試験的に栽培のビール麦は收穫量も販賣価格も予想以上になつたので農協では栽培希望者を募る事になつた品種は五五六号(ゴールデンメロン)種子一升は四〇圓、反當二升五合所要の見込み。申込みは八月三十日迄

「他を勵ます時はいつも竜丘を例にするのですよ」代田さんが裏付けをする。熊谷組二〇ヶ班の中の第一班は素晴らしい、さすがに竜丘班。

くさし込む寮の一室でダイナマイトの爆発音をきながら、しばらく話した。 明るい山、明るい職場、そして明るい人々、 満島に來た感想は、三問は決まらずにこの明るいさ、一言でつくる。 昔の「土方」飯場、 なきさいふ言葉から受ける暗さはどこにもない。 午後七時三十分満島よさよなら。

村の歴史

(中田 美穂)

三世、中世封建社会 (中世封建社会は世紀一二〇〇年ころ、源氏が鎌倉に幕府を開くに始まり、全一六〇〇年間に亘る合戦を以て政權が徳川氏に歸した項までの、四百年の間で所謂戦國時代の政治混亂の時期で、政治の安定を失ない地方の秩序は亂れ、

①、封建制度の成立 平安時代の中頃から荘園が全国的に発達し、古代の律令制度が崩れて農村の中に新勢力が成長し、荘園の領主と農民の中間に、農業者のかたわら武藝を習う武士が出來た。

封建制度は領主(將軍)が土地を家來に分けてやり、主従の關係を結び、少數の武士階級が約八割の人民(農民)を支配した。

農民は平均反当一石四斗(三俵二斗)の收穫で、其の半分は年貢に納め、耕地は一戸当り五反歩であつた。

鎌倉幕府は、新政策に守護(國)地頭(庄)を設けたが當然各地に有る公家の莊園を脅かすことになり、順次武家を

領は反對勢力を押えて擴大した。

鎌倉時代初期の伊賀良庄の地頭は北條時政で嘉暦のころにはその一族江馬氏であつた。

②、鈴岡城の興亡 信濃に於ける武家の頭棟たる伊賀良庄地頭小笠原貞宗は小笠原中興の祖と言われ、其の武力を順次北信に伸ばして

貞宗の曾孫長秀は京都に在つて足利義満に仕え、弓馬の禮式を教へ「武家禮式」を編んで將軍に用いられたもので所謂小笠原流と呼ばれたもので

其の子宗康は小笠原總領職で相續し、幾回も内亂の末に長將の子持長が善光寺で宗康を討つて松本川城で總領職を取つた。

宗康の子政秀は鈴岡城に、其の弟光康は松尾城に住んだ。鈴岡、松尾、深志三系統に分れた小笠原一族は總領職をめぐる相争ひ、宗康が深志

の持長に殺されて其の子政秀は鈴岡城に逃げ込んだが、鬼に角讓り状で總領職を受継いだので其の重代の寶物である

長時(孫秀政)は兵部大輔(長時)の孫秀政(兵部大輔)は慶長六年古河より飯田へ轉封されて来たが、有時に備えて種々の土木事業をした。

政秀の妻は傳來の財寶書類を携えて叔父下條氏康のいる吉岡城に逃げた。下條氏はその様子を林城の長朝に訴へて

長朝は松尾、伊藤、福澤、伴野、北原の家臣へ下條の加勢も加わせた。松尾でも劣らず勢揃えし、交戦數時の後伊藤、福澤は討死し、松尾側も小笠原小次郎、小木曾、赤羽の勇士

松尾定基抗戦を繼續してゐたが力盡き甲州の武田氏を頼つて亡命した。深志の林城から長朝の孫信定が松尾城に入り、下條氏康の子家氏が鈴岡の代官をした。

深志の長時(松尾の信定の兄)は武田氏に敗れ越後の上杉家に留る事二年で、信定の家臣溝口長勝を迎えられ鈴岡に入城した。

つぎめたのは先に深志小笠原三下條氏に追われた松尾の定基の孫信貴で、是に於て松尾小笠原は先祖の地に復歸する事が出来た。天正十八年八月本庄に封ぜられて松尾城は廢城となる。

長時の孫秀政(兵部大輔)は慶長六年古河より飯田へ轉封されて来たが、有時に備えて種々の土木事業をした。

政秀の妻は傳來の財寶書類を携えて叔父下條氏康のいる吉岡城に逃げた。下條氏はその様子を林城の長朝に訴へて

長朝は松尾、伊藤、福澤、伴野、北原の家臣へ下條の加勢も加わせた。松尾でも劣らず勢揃えし、交戦數時の後伊藤、福澤は討死し、松尾側も小笠原小次郎、小木曾、赤羽の勇士

松尾定基抗戦を繼續してゐたが力盡き甲州の武田氏を頼つて亡命した。深志の林城から長朝の孫信定が松尾城に入り、下條氏康の子家氏が鈴岡の代官をした。

深志の長時(松尾の信定の兄)は武田氏に敗れ越後の上杉家に留る事二年で、信定の家臣溝口長勝を迎えられ鈴岡に入城した。

私たちの言葉



【ハダカ大王様】 S.Y. 生 むかしの偶話に、ハダカ大王様というのがある。「王様がハダカだ」三人前で言つたら牢屋へぶちこまれるので、ひさりの商人は森の中へ穴を掘つてその中へ首を突込み、「王様はハダカだ」王様はハダカだ」と叫んでやつと溜飲を下げたという。人間はやはりシヤベル自由がほしいのだという証である。だが穴の中へ首を突込んでいつたのがダダ、良心的な新聞記者や報道関係者がドツミベンに首になるという日本の歴史には珍らしい。また日本文化には汚点を残す事件が起つてゐるのに、穴の中へ首を突込んで「クビキリ」には反對だ、「さだけだ」叫んでみてもそれは無駄である。去年までそれはインテリ、大學教授などは言論の自由をこんごこを失つてはならぬと聲明書を出し

村内こぼれ話

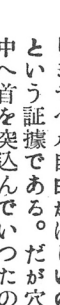
お盆の拾六日、學校々庭で野球の各団体對抗が息づまる様な熱戦で闘はれて居た午後一時ごろ、宿直室前の穴ムロへ一青年が轉落し、一時人事不省となつて、北原醫師の手當を受けた事件があつた。

去る七日龍峽七ヶ村の婦人会の會長協議會が本村役場に開かれた際、近村婦人會長さんが役場のお掃除の行届いてる事を一番先に賞めて居た。

話は今少し古いが春先緑の週間として、全縣一齊に植林の運動が展開された折、本村でも學校林へ中學校生徒が出て植樹をしたところがその事が労働基準監督署と云ふ役所へ傳

これら學校内の事に關連するが、記念館に八月の初旬村會の特別委員會が開かれて出席したところ、疊の上は糸屑紙屑が散亂、片隅にはやかん、茶のみ茶わんが片附けもせずおいてあつて、前夜か前日の何かの會合の人達が後片附も充分せず歸つたらしく見受けられた。

私たちが



天下に叫んだ。 今年はいよいよ穴の中で叫んでゐるようである。その証には一向に響き渡らぬ。来年は啞にでもなるのである。國會での政府の答辯によると企業家が勝手にやつたのださうである。共産黨員および共産黨員でなく、たくさん新聞記者をばつかりした理由もなく憲法を無視して一べんクビを切るような企業家はフアシストではなからうか。フアシスト反對を叫んだ大學教授達のそろ／＼出る幕ではないか。

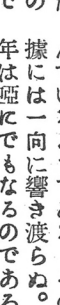
文化國家は抽象的論議の中から生れるのではなく、日常生活の實踐の中からのみ生れる。即ち社會人の道義性を無視して良い村が生れる筈がない。

去る七日龍峽七ヶ村の婦人会の會長協議會が本村役場に開かれた際、近村婦人會長さんが役場のお掃除の行届いてる事を一番先に賞めて居た。

話は今少し古いが春先緑の週間として、全縣一齊に植林の運動が展開された折、本村でも學校林へ中學校生徒が出て植樹をしたところがその事が労働基準監督署と云ふ役所へ傳

これら學校内の事に關連するが、記念館に八月の初旬村會の特別委員會が開かれて出席したところ、疊の上は糸屑紙屑が散亂、片隅にはやかん、茶のみ茶わんが片附けもせずおいてあつて、前夜か前日の何かの會合の人達が後片附も充分せず歸つたらしく見受けられた。

近頃新聞で



近頃新聞で五千人以下の村はまごめるか何か傳へられたが、昭和三年八月一日の調査では本村人口が五四七八名、男が二一九八名に對して女が二七八〇名で、一寸女性の方が多い。

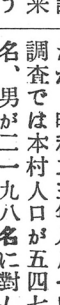
從而基準の以下ではないが、今後地方稅法の改正に伴つて小さい村で一切の教育施設をやつて、一人前にやろうとするに相當苦しい事を覺悟せねばならぬ。

去る七日龍峽七ヶ村の婦人会の會長協議會が本村役場に開かれた際、近村婦人會長さんが役場のお掃除の行届いてる事を一番先に賞めて居た。

話は今少し古いが春先緑の週間として、全縣一齊に植林の運動が展開された折、本村でも學校林へ中學校生徒が出て植樹をしたところがその事が労働基準監督署と云ふ役所へ傳

これら學校内の事に關連するが、記念館に八月の初旬村會の特別委員會が開かれて出席したところ、疊の上は糸屑紙屑が散亂、片隅にはやかん、茶のみ茶わんが片附けもせずおいてあつて、前夜か前日の何かの會合の人達が後片附も充分せず歸つたらしく見受けられた。

原稿募集



一、生活雜記、詩、短歌、私達の言葉、俳句、農業經營所感

二、用紙 毎月十五日 一、宛先 館長、館常任書記、情報部員

三、平易な言葉で書く 採否は一任された

宗康の子政秀は鈴岡城に、其の弟光康は松尾城に住んだ。鈴岡、松尾、深志三系統に分れた小笠原一族は總領職をめぐる相争ひ、宗康が深志

深志の長時(松尾の信定の兄)は武田氏に敗れ越後の上杉家に留る事二年で、信定の家臣溝口長勝を迎えられ鈴岡に入城した。

昭和廿五年度竜丘PTA婦人當番名

- 【桐林】南平 片桐志女 小池 吉川きくの 安城 齊藤正子 久保田 中島藤江 上北原 古瀬 中田佐津 久保尻 松田よみ
- 【時又】一 鈴木きのゑ 二 松村むつ 三 伊原節子 四 澁谷よ子 五 小島ささゑ 六 下田はる 七 前澤實枝子 八 澁谷よ子 九 代田きね 一〇 下平タミエ 一一 渡邊ふゆ 一二 木下楠枝 一三 沖田なるみ 一四 瑞穂 坪井さ子 一五 上川路 金山長沼さだえ 一六 中央三原スイ子 町並 杉本 やする 宮前今村千代
- 【長野原】一 小林さめ 二 今村あひ
- 【芙蓉】小林治

補虜のユーモレスク

（今村 清）

黒パンの分配
チターがイルクウツクか...

なげりやあ、「よし俺切る」な...

なげりやあ、「よし俺切る」な...

詩

楽しみは夕もやごもに

中學三年 鹽澤義雄

夕もやが降り始める...

夕ぐれ

中學二年 吉川イトエ

明日も又天気なのだらう...



歸農

歌科 下平 康二

いくたびか腰をのびしつ田草と...

三鷹の判決に

下平 誠

おのころの若き友情相抱きおの...

富士見の原へ

久保田幸子

渡り来し川も細りてまた歩む...

生活

時又 中平 茂

久方の遠き山邊にこだまする...

児童作品

かたつむり

中學二年 中平大雅

し〜〜さつきから小雨...

竜丘村連合青年會 後半期役員決る

常任委員長木下彦男、副委員長...

ウソニュース

これは本當のウソではあるが？

今日旅行者は必ず生命保険に加入...

迷信

三鷹事件判決以来九人の犯罪共...

屋内集会禁止令

總理「屋内集会禁止令をしておけ」...

デモ禁止令

當局は時局の勢にかんがみて...

無料提出

白菜、かんらん、美濃早生大根等...

元將軍と部下

「い、陽気なや、お前も警察...

ハッ！ハッ！

「ハッ！ハッ！ハッ！ハッ！ハッ！...



編輯後記

八月十九日 午後三時から...

短歌の投稿が多くなつて嬉しい...